

ティーチング・ポートフォリオ兼教員プロフィール

	保育科 特任教授 奥 山 賢 一 （おくやま けんいち） OKUYAMA Kenichi
所属	保 育 科
学位	教育学士
資格・免許	小学校教諭一級免許状取得 小学校教諭専修免許状取得 中学校教諭一級免許状（数学）取得 高等学校教諭二級免許状（数学）取得
学歴・職歴	<学歴> 1976 年 3 月 山梨県立甲府第一高等学校卒業 1980 年 3 月 山梨大学教育学部教育科学科数学教育専攻卒業 <職歴> 1980 年 4 月 御勅使中八田小学校組合立八田小学校教諭（1983 年 3 月まで） 1983 年 4 月 白根町立白根百田小学校教諭（1985 年 3 月まで） 1985 年 4 月 在パラグアイ国アスンシオン日本人学校教諭（1988 年 3 月まで） 1988 年 4 月 竜王町立竜王東小学校教諭（1993 年 3 月まで） 1993 年 4 月 山梨大学教育学部附属小学校教諭（2002 年 3 月まで） 2002 年 4 月 竜王町立竜王小学校教諭（2005 年 3 月まで） 2005 年 4 月 甲斐市教育委員会学校教育課指導監（教頭相当）（2010 年 3 月まで） 2010 年 4 月 甲斐市立竜王東小学校教頭（2011 年 3 月まで） 2011 年 4 月 北杜市立高根北小学校校長（2013 年 3 月まで） 2013 年 4 月 甲斐市立竜王小学校校長（2018 年 3 月まで）
担当科目	算数科教育法 算数科概論 算数科教育法特論 算数 人間と教育 教職実践演習（幼・小）
専門分野	算数・数学教育 小学校教育 ICT 教育 遠隔教育
現在の研究テーマ	ICT 活用・プログラミング教育
競争的資金等の研究課題	—
所属学会	数学教育学会 日本森林教育学会
メッセージ	高校生のときには受験科目を精査し、得意科目を中心に大学受験勉強されたと思います。数学は1問ミスすれば合計点を引き下げてしまう心配から、受験科目しなかった人が多かったと思います。しかし、保育科で算数・数学を学ぶとは、ものの見方・考え方を広げていくことです。算数・数学を学ぶことで、豊かな思考方法が培われ、多面的な見方考え方を育成し、皆さんの将来にとってかけがえのないものとなるよう努めてまいります。

教育		
2022 年 4 月～2023 年 3 月		
教育方針		保護者との人間関係づくりができ、子どもの見方・考え方を広げていく保育者を養成したい。
授業	授業の工夫	<算数科教育法> 算数科 4 領域の中の「C 測定」と「C 変化と関係」の領域の目標や配列を意識しながら、学習指導案作成の中で、指導方法・評価方法・教材作成の方途を学ぶ講義となるよう指導している。 <算数科教育概論> 小学校低学年・高学年の発達段階の違いを意識した授業案作りや模擬授業を行う中で、発問や展開、評価について学び、実践的な授業作りができる教師になることをめざした指導をしている。 <算数科教育研究法特論> 子どもたちが自ら考え、判断・表現・発表し、友達の意見を聞きながら共に学ぶ算数科の授業をつくるために、実際の授業実践も取り入れながら講義をすすめていく。その中で、手軽に作れる模造紙の提示物や算数プリント、PC 用ソフト・タブレット用アプリ、ユニークな教材等の活用法についても学び、授業に生かしている。 <算 数> 4 領域の中の「数と計算」「図形」領域は幼児教育との関連が大きい部分である。各領域の目標や配列を意識しながら、学習指導案作成の中で、指導方法・評価方法・教材作成の方途を有意義に学ぶ講義としていくよう指導している。 <人間と教育> 受講生自らの意見と他者の意見を題材としたグループディスカッションやディベートを行い、これまでの経験の中で形成された個々の価値観の再構築を図るよう、課題評価を行いその効果を確認している。 <教職実践演習（幼・小）> 保育園・幼稚園で保護者に寄り添った対応ができるよう、学生のこれまでの教職課程学習を生かし、履修カルテ等を通じて把握し、教育実習の反省を踏まえながら、個々の学生の課題に基づいて個別的指導をしている。
	授業改善のための取組	講義形式の内容とデジタルデータを共有する方法や Web 上の動画をスクリーンに投影することで、視覚聴覚を使った学びに取り組ませた。また、ディベートを取り入れた学習では、その流れを iPad のポートフォリオアプリを使い、学生と振り返りができるようにしている。

教育（つづき）		
2022 年 4 月～2023 年 3 月（つづき）		
ゼミ	ゼミ活動 （卒業演習） （修了研究）	—
	卒業レポート・ 修了研究テーマ	—
課外活動	—	
2022 年 3 月以前		
主な教育業績	—	
研究		
2022 年 4 月～2023 年 3 月		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
—		
2022 年 3 月以前（主なもの）		
タイトル（単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等
（著 書） 小学校指導法シリーズ 小学校指導法 算数 （共著）	2019 年 3 月	玉川大学出版部
（その他：研究発表・指導助言） プログラミング学習「ロボットを動かそう！」 （共著）	2018 年 11 月	平成 30 年度 関東甲信越放送・視聴覚教育研究大会冊子 神奈川・相模原大会
社会貢献		
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等		
2022 年 4 月～2023 年 3 月		
・数学教育学会 会員（2018 年 12 月～） ・やまなし ICT 利活用教育研究会（2007 年 8 月～）		

社会貢献（つづき）
産官学連携、高大連携、研修会講師、学外委員会活動、学会活動、講演会、等
2022 年 3 月以前（主なもの）
・ 甲斐市立竜王小学校「21 世紀型学力を育成する教育課程に関する研究（プログラミング教育）」公開研究会 指導助言者（2020 年 1 月 28 日） ・ 小学校「森から見える」の学習活動の成果を、サイバーフォレスト研究会が主催するシンポジウムで発表（サイバーフォレスト研究会：東京大学農学部）（2019 年 3 月） ・ 数学教育学会 秋季例会（金沢大学）オーガナイザー Organized Session B「小学校の教科担任制（算数科教員の育成（養成と研修）」（2019 年 9 月 17 日～19 日） ・ 甲斐市立竜王小学校「21 世紀型学力を育成する教育課程に関する研究（プログラミング教育）」公開研究会 指導助言者 2020 年 1 月 28 日・山梨県小中学校校長会研究集会指導助言者（2018 年 11 月） ・ 一般社団法人 CIEC（シーク）会員（1997 年～2018 年 6 月） ・ 補助黒板としての電子黒板利用～その実際と課題～（数学教育学会春季例会：東京理科大学）（2012 年 3 月） ・ 小学校における ICT 機器を活用した問題解決学習及びプログラミング学習の実際（数学教育学会秋季例会：山形大学）（2017 年 9 月）
受賞 ※個人、所属団体
・ 平成 28（2016）年度「ICT 夢コンテスト」（主催：一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEC））日本新聞社賞受賞「原体験とサイバーフォレストを活用した『森から見える』の学習」受賞（甲斐市立竜王小学長時） ・ 平成 28（2016）年度「山梨科学アカデミー児童・生徒科学賞（小学校部門「森から見える」）」受賞（主催：公益社団法人山梨科学アカデミー）（甲斐市立竜王小学校長時） ・ 「第 9 回（2001 年）上月情報教育賞」受賞（主催：一般財団法人上月財団）「学校のオープン化とヒューマンネットワークの構築過程」（山梨大学教育人間科学部附属小学校時）